

IV 研修部

1 令和3年度 研究全体構想図

学校教育目標
 夢いっぱい 未来を切り拓く 上小の子
 - ふるさとにたち 自信とプライドをもって行動する児童の育成 -

やさしく 豊かな心で支え合う子ども(ハートさん)	かしこく 学びを深め合う子ども(カッシーさん)	たくましく 心と体を鍛え合う子ども(ニュートンさん)
-----------------------------	----------------------------	-------------------------------

研究主題
思いを伝え合い、共に学びを深める子どもの育成
～言葉や人がつながる学び合いを目指して～

主題設定の理由

一昨年度から、児童の語彙力を増やし、自分の考えを相手に分かりやすく表現させたいという思いから、国語科を研究教科とし、初年度は「話す・聞く」の領域を中心に、昨年は国語科全領域で研究を進めてきた。「ことばタイム」や授業での取組により語彙力が向上し、ハンドサインやつなぎ言葉を用いた学びをつなげる話し合いの力も育ってきた。また、子どもたちが自分たちで進める授業のスタイルも定着してきた。さらに、読書への関心が一層広がり、児童の言語環境を豊かにしている。

しかし、話す力や語彙力には個人差があり、自分の思いを自分の言葉で表現できずにいる児童も少なくない。思いを伝えたり豊かな語彙力を身に付けたりすることは、主体的に学び進んで学び合おうとする力や、ねらいに応じて対話を深めようとする力の根幹を支えるものとして、欠かすことのできない基本的な力である。そのために、自分の思いを表現して伝え合ったり、話し合いを深めたりするためには、児童の基本的な言語能力や学力の底上げ、学び合いの充実が必要だと考えた。また、教師側でも、児童の思考や発言をくみ取って思いをつなぎ、ねらいに迫り深い学び合いにするためのコーディネート力をさらに高めていかなければならない。そして、資質・能力を育むために主体的・対話的で深い学びとなるよう、「見方・考え方」を働かせて学ぶような授業デザインを考えていく必要がある。

そこで、引き続き国語科を研究教科とし、今年度も全領域を通して研究を進める。本校の学習スタイルを軸に、「見通し」「関わり合い」「振り返り」の流れに「見方・考え方」を意識した授業構築を図りながら、主体的・対話的な学びにつながる授業の在り方を追究していきたい。自分の思いを言葉でつなぐ・自分と友達の思いをつなぐ・児童と教師の思いをつなぐ・他教科へつなぐなど、様々なことをつなげていくことを大事にしていきたい。一人一人に「言葉の力」を育み、確かな学力に結び付く実践をさらに積み重ねていきたいと考えている。

仮説1 言語事項の基礎を身に付ける学習活動を積み重ねることで、自分の思いや考えを意欲的に伝えようと し、共に学び合おうとすることができるだろう。	仮説2 身に付けた言語能力を生かしながら、ねらいを明確にしたり、表現するための手立てなどを工夫したりすることで、学びを深めることができるだろう。
--	--

具 体 的 施 策	
1 言語事項を身に付ける学習活動 <ul style="list-style-type: none"> ・表現力を培い、語彙を増やすための言語活動 ・学習活動を支える言語環境の整備 ・基本的な言語能力の育成 (話型、ハンドサイン、読書、) ・聞く姿勢の育成(姿勢、反応など) ・「学び合い言葉」の活用 	2 学びを深めるための力の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・「上小スタンダード」を軸とした授業展開 ・「見方・考え方」を働かせるための授業デザイン ・自分の考えや根拠を明確にした話し合いの推進 ・ねらいに応じた学習形態の工夫 ・「ステップアップタイム」の充実 ・場に応じた教師のコーディネート ・学びの深まりや自己の変容を実感できる振り返り ・子ども授業参観

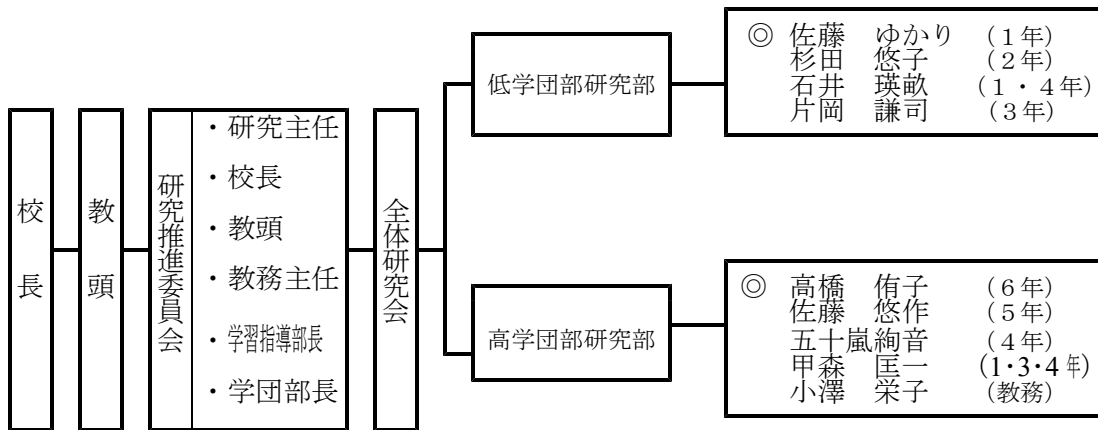
学びを支える環境作り <ul style="list-style-type: none"> ・学習の約束の徹底 ・音読、群読、暗唱の継続と場の設定 ・スピーチタイム 	<ul style="list-style-type: none"> ・互いを認め合う学級作り ・辞典や辞書の活用 ・家庭学習、音読の工夫と継続 	<ul style="list-style-type: none"> ・言語資料の掲示 ・ノート指導
---	---	--

↑

前に踏み出す力(アクション)	考え抜く力(シンキング)	チームで働く力(チームワーク)
----------------	--------------	-----------------

「おおだて型学力」を鍛える授業の視点

2 研究組織



3 年間研修計画

月	研修内容	学力向上施策
4	・全体研修会（職員会議における研究全体計画の共通理解） ・具体的な取組みの提案・推進	
5	・指導案の形式の確認，検討	・全国学力学習状況調査
6	・北教育事務所指定訪問「国語科」（6年） ・特別支援教育セミナー（2組・3組）	・全国学力学習状況調査 自校採点分析
7	・一中学区連携研究会（会場校：一中） ・大館市教育委員会訪問「生徒指導」研修会	
8	・全体研修会（伝達講習）	
9	・北教育事務所指定訪問「図画工作科」（2年）	
10	・大館市教育研究会「社会」授業研究会（5年）	
11	・北教育事務所指定訪問「国語科」（1年）	・パワーアップタイム (4～6年)
12	・研究紀要編集方針の決定 ・校内授業研究会「国語科」（3年）	・県学習状況調査（4～6年）
1	・1年間の取り組みの成果と課題 ・研究のまとめ，今年度の振り返り ・学団部会研修（県学習状況調査の結果分析について）	・CRT検査（1～6年） ・県学習状況調査の結果分析
2	・研究紀要作成	・県学習状況調査の事後指導 ・CRT検査の結果分析， 回復指導 ・パワーアップタイム（5年）
3	・研究紀要完成 ・全体研究会（次年度の確認）	